



# 2015年度第1回TeMA-CA会

## お客様の為に学ぶ スーツのあれこれ ～意外と知らない知識とメンテナンス～

### 花菱縫製株式会社 手塚敏永講師

2015年8月5日(水)日本クリーニングセンター2階ホールにてクリーニングアドバイザー勉強会が行われた。

2015年度のCA勉強会のテーマは前年度に引き続き『お客様に寄り添う接客』。第1回目となる今回は『お客様の為に学ぶ スーツのあれこれ～意外と知らない知識とメンテナンス～』と題し日頃お預りするアイテムの中でも身近なスーツに焦点をあてた。

講師としてお招きしたのは花菱縫製株式会社の手塚敏永氏。花菱縫製株式会社は創業80年、主にオーダーメイドのスーツを扱う老舗テーラーである。そこで企画から販売まで携わっている手塚氏。いろんなことを知り尽くしたプロだからこそこの勉強会となった。

勉強会は2部に分かれて行われ、第1部は手塚氏による講義。そして第2部ではあらかじめ分けられたグループごとに1部での講義内容をど様に接客で生かしていくのかをディスカッション。グループごとに手塚氏への質疑の時間も設けられた。

スーツの講義と言われるときっと多くの人が歴史やスーツの種類などの教科書に載っているような内容を想像していたのではないだろうか。そんななか始まった講義は『スーツあれこれヒトリゴト。』資料には先生自作の詩が7つ書かれてあった。スーツは「暑さ寒さをしのぐただの衣類ではなく「相手に敬意を

表すためのもの。そして自己表現のツールである。」7つの詩は、着ている人にとってスーツとはどんな存在なのか、ということからお手入れ方法・着こなしのポイントまで様々なことが盛り込まれていた。

そしてスーツの基礎知識。主にスーツの格付けやディティールの名称・各部位の採寸方法について。スーツにはデザインによって格付けがあり、格付けがあるということは年齢や役職などによってもふさわしいデザインがあるということになる。そのデザインを選ぶ目安や初めてのスーツ・2着目・3着目の選び方など興味深いものだった。採寸方法も各部位によって測り方が違い、スラックスのデザインによる裾丈の適した長さなど・・・お直しの際に役立つ知識も満載だった。

そしてスーツのいろんな疑問に答えてくれているQ&A。着こなしのマナーや素材について(英国生地とイタリア生地の違いなど)、礼服との違いから最近の流行のデザインまで多岐にわたるものだった。

スーツは馴染み深い衣類のひとつだが、基礎知識の講義の中だけでも知らなかったことがたくさんあったのではないだろうか。本当に幅広い内容ではあったがどれもすぐに仕事に使える、またお客様に伝えたい知識ばかりでスーツをお預りするのが楽しくなるものだった。

TeMA  
Textile Maintenance Association



手塚敏永講師

アパレル専門店店長を経て、1991年花菱縫製株式会社。仙台店企画担当～本社マーチャンダイザー～仙台店店長を経て2013年営業企画部長に就任。MEMENS & WOMENS服地の仕入れ、モデル改善・新モデル開発に携わる。MENSEX・OCEANS・GAINERなどファッション誌とのオーダー体験コラボ企画ではマスターフィッターを務める。またANA自分磨き塾にてウェルドレス講座の講師も務める。

★第2部で時間の都合上聞くことが出来なかった疑問がありました。今回その中から多かった疑問に後日、先生が答えてくださいました。そちらを裏面に掲載しています。ぜひご覧ください!!!

メンテナンス方法を説明する手塚氏



講義の様子



# 手塚敏永講師のスーツのあれこれQ&A ～特別編～

フォーマルをビジネスとおっしゃるお客様へ納得のいくアドバイスはないか

お客様がそのようにおっしゃる理由は2つありそうです。

- 1 つめは、それを購入した時に、販売員から「ビジネスと兼用で使えますよ」と言われたから。
- 2 つめは、クリーニング料金に違いがあり、安く済まそうと考えるから。・・・ではないでしょうか。

日本のいわゆる「礼服」は、色は漆黒で慶事でも弔事でもどちらでも使える便利なスーツです。また外見上の特徴は上着がノーベントでダブル（シングルの場合もあり）のものが多いです。しかしながら、この礼服を普段のビジネスで着用することは、それこそマナー違反です。色も真っ黒なので、周りからは「葬式帰り」か何かだと思われることでしょう。常識を疑われてしまいます。

1 のケースは、礼服とは別の「黒無地のビジネススーツ」のことだと思われま。※黒も重々しくない黒です。特に20～30代向けのスーツは黒無地が大変人気があり、皆さん礼服替わり・礼服兼用で着用しているようです。ただしこれは、経済的に未熟な若年層には許されても、いい大人であれば常識はずれです。ちゃんとしたフォーマルスーツを持つことが大人のたしなみです。

スーツのお手入れ道具、ミストやブラシに関するアドバイスはないか

私が個人的に愛用しているのは「花王・服のミスト」と「豚毛の洋服ブラシ」です。※宣伝ではありません。一日着用したら、その日のうちにお手入れすることが大事です。

まずはブラッシングです。上着もパンツも上から下へブラッシングしましょう。外側だけでなく衿裏やポケットの内側もきれいにしましょう。

そのあとに50センチほど離して全体にミストを掛けます。上着は袖のヒジ部や背中腰の腰部、パンツは尻回りや内股やヒザ裏部など、シワが発生しているところは入念にミストをかけましょう。

ミスト後は上着は肩の厚いハンガーに、パンツは挟んで吊るせる専用ハンガーに裾を上にして吊るします。そして、風通しの良いところで一晩乾かします。

翌朝、仕上げのブラッシングをして、クローゼットにしまします。必要に応じて、パンツはアイロンも併用しましょう。



汗をかいた後のスーツのメンテナンスは何をしているか

私はその日のうちにケアしています。ハンドタオルを水絞りにして、上着とパンツの特に内側部分を念入りに拭きます。その後A2のようにブラッシングして、ミストをかけて、一晩乾かします。

これで大概は大丈夫ですが、それでもまだ匂いが残っているようなら、クリーニングに出します。

大汗をかいた場合は、迷わずクリーニングに出しますが、その場合でも、当日のケアは同様に行います。

良いスーツの見分け方とは

簡単な外見上の見分け方としては、

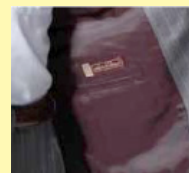
- ①お台場が付いているかどうか
- ②襟のふちにハンドステッチが入っているかどうか
- ③袖口のボタンが開閉できる本切羽（ホンセツパ）かどうか
- ④メーカーマークの他に、生地ブランドマークが入っているかどうか
- ⑤パンツの裾口裏部に、生地の耳文字を使った靴擦れ布が付いているかどうか

これらのディテールはコストアップにつながりますので、いわゆる安売りスーツでは省略されます。

逆説的に、これらのディテールを有するスーツは、良品だと判断できます。また、良い生地を使用しているスーツは、手触りの滑らかさが全然違います。



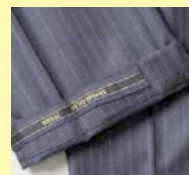
お台場



生地ブランドマーク



本切羽



靴擦れ・耳文字